

## タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2018 助成の概要と推薦理由

助成番号 18-2-2

プロジェクト名 在宅療養中の医療的ケア児およびその家族の  
交流事業と情報発信活動（2）  
団体名 特定非営利活動法人かけはしねっと  
代表者名 根本 希美子  
所在地 茨城県  
助成額 94万円  
助成期間 2019年9月1日～2020年8月31日  
設立年 2016年  
URL <http://kakehashinet.jp/>



在宅で生活をしている医療的ケアが必要な子どもとその家族は、子どもの体調面に対する配慮や医療機器の持ち運び、医療的ケアを行う時間的な制約などで、気軽に外出が出来ずに家に閉じこもりがちとなる。そのため地域の支援サービスや相談機関などの情報を得る機会も少なくなり、ますます孤立した状況におかれている。茨城県内には医療的ケア児は400人程度いると推定されるが、当事者同士が出会う場がないことも課題となっている。

この団体は、主に茨城県在住の当事者の親が中心となり、医療的ケアが必要な子どもとその家族に対して、交流会や情報交換の機会を提供しながら、当事者家族が孤立しないよう、ゆるやかなネットワークづくりに取り組んでいる。

前回の助成では、交流会や勉強会などを通じて、医療的ケアが必要な子どもを抱える親同士や地域の支援者と顔の見えるつながり作りを深め、支援情報の不足による不安や孤立の解消に努めた。また地域で講演会及びフォーラムを開催し、医療的ケアが必要な子どもとその家族の現状や課題を広く発信し、支援者や理解者の輪を拡げるとともに新たな当事者家族の掘り起こしへとつなげることが出来た。

今回の助成では、つくば市で開催していた交流会を他地域でも開催し、自分達が住んでいる身近な地域で当事者家族や支援者とつながる機会を提供する。また退院した家族が不安なく在宅で過ごせるよう、団体が蓄積してきたノウハウや地域支援サービスの情報、当事者家族の経験等を集約した冊子を作成する。

本助成を通じて、団体の組織体制を強化しながら、当事者家族が孤立しないよう、支援者とともに地域全体で支える仕組みを構築されることを期待して助成する。